



(Drug Information News)

NO. 475

2025 年 12 月号

徳山医師会病院 薬局

TEL: 0834-31-7716

FAX: 0834-32-5349

e-mail: yaku2@tokuyamaishikai.com

薬局ウェブサイト http://hospital.tokuyamaishikai.com/introduce_list/ より「薬局」をクリック

1. 薬事委員会結果報告

11月開催分

●先発品から後発品への切り替え予定医薬品

	品 名 (後発品)	薬価	薬効	同一成分薬品 (先発品)	薬価
内服薬	アミオダロン塩酸塩速崩錠 100mg 「TE」	72.0	不整脈治療剤	アンカロン錠 100mg	73.60
	チアプリド錠 25mg	8.20	脳梗塞後遺症に伴う攻撃的 行為、せん妄の改善 など	グラマリール錠 25mg	12.50
外用薬	ドルモロール配合点眼液	107./mL	炭酸脱水素酵素阻害剤	コソプト配合点眼液	326/mL

●常備中止医薬品 ※在庫数は 11 月時点の数です。

	品 名	在庫数	薬 効	理 由	当院採用同種同効薬
注射薬	アミオダロン塩酸塩静注 150mg	0	不整脈治療剤	期限切れ (2025 年 10 月)	アンカロン錠 100mg
外用薬	ネリジナユニバーサルクリーム	0	外用合成副腎皮質ホルモン剤	使用が少ないため	アンテベート軟膏、クリーム、ローション

●その他

- ・ラコール NF 配合経腸用半固形剤は製造中止のため、現在の在庫が無くなり次第「イノソリッド配合経腸用半固形剤」へ変更となります。 → 12/2、在庫が無くなりました。

2. Q&A コーナー

11月分

★ラジカット[®]注の投与間隔は？

6～7 時間空ければ良い

★タムスロシンで血小板減少が生じるか？

PMDA の副作用報告データベースには報告事例がある

★体重が 100kg 以上ある患者はオーグメンチン[®]錠を 1 回 2 錠で服用して良いか

1 回 2 錠での服用は保険適応外となる。

効果については検討していないが、血中濃度が不安定となり、副作用が出やすくなる可能性はある

★ループ利尿剤 3 種(フロセミド、アゾセミド、トラセミド)でナトリウム低下に違いがあるか？

直接比較した具体的なデータは無いが、フロセミドは短時間で聞くことからナトリウムも短時間で低下しやすい。トラセミドは電解質異常が生じにくいとされている。

★シングリックス[®]筋注を昨年1回接種しており、約1年経過しているが2回目接種は可能か
添付文書では2回目の接種は1回目より2か月経過後、遅くとも6ヵ月以内に接種となっていることから適応外となる可能性がある。有効性について検討は行っていないが、接種不適當者には当たらない。なお、海外では半年以上経過していても2回目と計上して良いこととなっている。

3. 新規収載医薬品

2025年11月12日

●内服薬

ドルミカムシロップ 2mg/mL

製造・販売	丸石西薬
分類	催眠鎮痛剤、抗不安剤
成分名	ミダゾラム
薬価	1,117.80 円
効能・効果	麻酔前投薬
用法・用量	通常、小児にはミダゾラムとして1回 0.25～1.0mg/kg（最大用量 20mg）を麻酔開始前に経口投与する。

ナルティーク OD錠 75mg

製造・販売	ファイザー
分類	その他の中枢神経用薬
成分名	リメゲパント硫酸塩水和物
薬価	2,923.20 円
効能・効果	片頭痛発作の急性期治療及び発症抑制
用法・用量	〈片頭痛発作の急性期治療〉 通常、成人にはリメゲパントとして1回 75mg を片頭痛発作時に経口投与する。 〈片頭痛発作の発症抑制〉 通常、成人にはリメゲパントとして 75mg を隔日経口投与する。

ネクセトール錠 180mg

製造・販売	大塚製薬
分類	高脂血症用剤
成分名	ベムペド酸
薬価	371.50 円
効能・効果	高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症
用法・用量	通常、成人にはベムペド酸として 180mg を1日1回経口投与する。

ビルベイ顆粒 200μg、600μg

製造・販売	IPSEN
分類	肝臓疾患用剤
成分名	オデビキシバット水和物
薬価	200μg：29,705.10 円 600μg：89,114.70 円
効能・効果	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症に伴うそう痒
用法・用量	通常、オデビキシバットとして 40μg/kg を1日1回朝食時に経口投与する。なお、効果不十分な場合には、120μg/kg を1日1回に増量することができるが、1日最高用量として 7200μg を超えないこと。

フジケノン粒状錠 125

製造・販売	藤本製薬
分 類	他に分類されない代謝性医薬品
成分名	ケノデオキシコール酸
薬価	22,043.00 円
効能・効果	脳腱黄色腫症
用法・用量	<p>通常、成人にはケノデオキシコール酸として 1 日量 250mg より投与開始し、250mg ずつ増量した後、維持量として 1 日量 750mg を、1 日 3 回に分けて連日経口投与する。なお、患者の状態により適宜増減するが、1 日量として 1000mg を超えないこと。また、1 回あたりの投与量として 375mg を超えないこと。</p> <p>通常、小児にはケノデオキシコール酸として 1 日量 5mg/kg より投与開始し、5mg/kg ずつ増量した後、維持量として 1 日量 15mg/kg を、1 日 3 回に分けて連日経口投与する。なお、患者の状態により適宜増減するが、1 日量として 15mg/kg 及び 750mg のいずれも超えないこと。また、1 回あたりの投与量として 250mg を超えないこと。</p>

ソフルーザ顆粒 2%分包

製造・販売	塩野義製薬			
分 類	抗ウイルス剤			
成分名	バロキサビル マルボキシシル			
薬価	1,666.20 円			
効能・効果	A型又はB型インフルエンザウイルス感染症の治療及びその予防			
用法・用量	通常、以下の用量を単回経口投与する。			
	効能・効果	年齢	体重	用量
	治療	成人及び 12 歳以上の小児	80kg 以上	20mg 錠 4 錠又は顆粒 8 包（バロキサビルマルボキシシルとして 80mg）
			80kg 未満	20mg 錠 2 錠又は顆粒 4 包（バロキサビルマルボキシシルとして 40mg）
		12 歳未満の小児	40kg 以上	20mg 錠 2 錠又は顆粒 4 包（バロキサビルマルボキシシルとして 40mg）
			20kg 以上 40kg 未満	20mg 錠 1 錠又は顆粒 2 包（バロキサビルマルボキシシルとして 20mg）
			10kg 以上 20kg 未満	10mg 錠 1 錠又は顆粒 1 包（バロキサビルマルボキシシルとして 10mg）
			10kg 未満	顆粒 50mg/kg（バロキサビル マルボキシシルとして 1mg/kg）
	予防	成人及び 12 歳以上の小児	80kg 以上	20mg 錠 4 錠又は顆粒 8 包（バロキサビルマルボキシシルとして 80mg）
			80kg 未満	20mg 錠 2 錠又は顆粒 4 包（バロキサビルマルボキシシルとして 40mg）
12 歳未満の小児		40kg 以上	20mg 錠 2 錠又は顆粒 4 包（バロキサビルマルボキシシルとして 40mg）	
		20kg 以上 40kg 未満	20mg 錠 1 錠又は顆粒 2 包（バロキサビルマルボキシシルとして 20mg）	

イブトロジーカプセル	
製造・販売	日本化薬
分 類	その他の腫瘍用薬
成分名	タレトレクチニブアジピン酸塩
薬価	9,711.20 円
効能・効果	<i>ROS1</i> 融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌
用法・用量	通常、成人にはタレトレクチニブとして 1 日 1 回 600mg を空腹時に経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。
ヘルネクシオス錠 60mg	
製造・販売	日本ベーリンガーインゲルハイム
分 類	その他の腫瘍用薬
成分名	ゾンゲルチニブ
薬価	13,881.90 円
効能・効果	がん化学療法後に増悪した <i>HER2</i> (<i>ERBB2</i>) 遺伝子変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌
用法・用量	通常、成人には、ゾンゲルチニブとして 1 日 1 回 120mg を経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。

●注射薬

アイザベイ硝子体内注射液 20mg/mL	
製造・販売	アステラス製薬
分 類	眼科用剤
成分名	アバシнкаプタド ペゴルナトリウム
薬価	142,522 円
効能・効果	萎縮型加齢黄斑変性における地図状萎縮の進行抑制
用法・用量	アバシнкаプタド ペゴルナトリウム 2mg/0.1mL（リンカーを含むオリゴヌクレオチド部分として）を初回から 12 カ月までは 1 カ月に 1 回、硝子体内投与し、以降は 2 カ月に 1 回、硝子体内投与する。
フルヴィクト静注	
製造・販売	ノバルティスファーマ
分 類	その他の腫瘍用薬
成分名	ルテチウムビピボチドテトラキセタン (^{177}Lu)
薬価	3,389,878 円
効能・効果	PSMA 陽性の遠隔転移を有する去勢抵抗性前立腺癌
用法・用量	通常、成人にはルテチウムビピボチドテトラキセタン (^{177}Lu) として 1 回 7.4GBq を 6 週間間隔で最大 6 回静脈内投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。
ガリアファーム $^{68}\text{Ge}/^{67}\text{Ga}$ ジェネレータ、ガリアファーム溶出用 0.1mol/L 塩酸溶液	
製造・販売	ノバルティスファーマ
分 類	放射線性医薬品
成分名	ガリウム (^{68}Ga) ジェネレータ、ガリウム (^{68}Ga) ジェネレータ専用溶出液
薬価	ジェネレータ：315,161 円、溶出液：152 円
効能・効果	陽電子放出断層撮影（PET）イメージングのために承認された被標識用製剤のガリウム (^{68}Ga) 標識

用法・用量	適量の溶出用 0.1mol/L 塩酸溶液により塩化ガリウム（ ⁶⁸ Ga）溶液の必要量を溶出し、担体分子の <i>in vitro</i> 標識に用いる。
アイマービー点滴静注 300mg、1200mg	
製造・販売	ヤンセンファーマ
分 類	その他の生物学的製剤
成分名	ニボカリマブ（遺伝子組換え）
薬価	300mg：491,823 円 1200mg：1,967,291 円
効能・効果	全身型重症筋無力症（ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏効しない場合に限る）
用法・用量	通常、成人及び 12 歳以上の小児には、ニボカリマブ（遺伝子組換え）として初回に 30mg/kg を点滴静注し、以降は 1 回 15mg/kg を 2 週間隔で点滴静注する。
ロカメッツキット	
製造・販売	ノバルティスファーマ
分 類	その他の診断用薬
成分名	ガリウム（ ⁶⁸ Ga）ゴゼトチド
薬価	185,947 円
効能・効果	PSMA 標的療法の前立腺癌患者への適応判定の補助
用法・用量	通常、成人にはガリウム（ ⁶⁸ Ga）ゴゼトチドとして 111～259MBq を静脈内投与し、投与 50～100 分後に陽電子放出断層撮影（PET）法により撮像を開始する。

●外用薬

ネフィー点滴鼻液 1mg、2mg	
製造・販売	アルフレッサファーマ
分 類	副腎ホルモン剤
成分名	アドレナリン
薬価	1mg：22,975.30 円 2mg：24,672.10 円
効能・効果	蜂毒、食物及び薬物等に起因するアナフィラキシー反応に対する補助治療（アナフィラキシーの項のある人またはアナフィラキシーを発現する危険性の高い人に限る）
用法・用量	通常、体重 30kg 未満の患者には、アドレナリンとして 1 回 1mg を、体重 30kg 以上の患者には、アドレナリンとして 1 回 2mg を鼻腔内に投与する。
ワイキャンズ外用液 0.71%	
製造・販売	鳥居薬品
分 類	鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤
成分名	カンタリジン
薬価	14,995.60 円
効能・効果	伝染性軟属腫
用法・用量	通常、成人及び 2 歳以上の小児に、3 週間に 1 回、患部に適量を塗布する。塗布 16～24 時間後に、石鹸を用いて水で洗い流す。

4. 添付文書の改訂

※添付文書記載内容の改定に伴う改訂に関しては省略致します。

○ゾコーバ錠（塩野義製薬）の【禁忌】に追記がありました。（下線部_____追記箇所）

2. 禁忌

2.1、2.3、2.4 変更なし 省略

2.2 次の薬剤を投与中の患者：ピモジド、キニジン硫酸塩水和物、ベプリジル塩酸塩水和物、チカグレロル、エプレレノン、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、エルゴメトリンマレイン酸塩、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩、シンバスタチン、トリアゾラム、アナモレリン塩酸塩、イバブラジン塩酸塩、ベネトクラクス〔再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の用量漸増期〕、イブルチニブ、ブロナンセリン、ルラシドン塩酸塩、アゼルニジピン、アゼルニジピン・オルメサルタン メドキシミル、スボレキサント、ダリドレキサント塩酸塩、ボルノレキサント水和物、タダラフィル（アドシルカ）、マシテンタン・タダラフィル、バルデナフィル塩酸塩水和物、ロミタピドメシル酸塩、リファブチン、フィネレノン、ボクロスポリン、ロナファルニブ、マバカムテン、リバーロキサバン、リオシグアト、アパルタミド、カルバマゼピン、エンザルタミド、ミトタン、フェニトイン、ホスフェニトインナトリウム水和物、リファンピシン、セイヨウオトギリソウ（St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート）含有食品

○ドルミカム注射液（丸石製薬）の【禁忌】に変更がありました。

（下線部_____追記箇所、削除線部_____削除箇所）

2. 禁忌

2.1～2.3、2.5 変更なし 省略

2.4 HIV プロテアーゼ阻害剤（リトナビルを含有する薬剤、~~ネルフィナビル~~、~~アタザナビル~~、ホスアンプレナビル、ダルナビルを含有する薬剤）、~~エファビレンツ~~、コビシスタットを含有する薬剤、~~及び~~ニルマトレルビル・リトナビル及びロナファルニブを投与中の患者

○リバーロキサバン錠（第一三共エスファ）の【警告】【禁忌】【効能又は効果】【用法及び用量】とそれらに関連する注意に追記がありました。

下記記載部分以外 変更なし 省略（下線部_____追記箇所、削除線部_____削除箇所）

1. 警告

1.2 成人の深部静脈血栓症又は肺血栓塞栓症発症後の初期3週間の15mg1日2回投与時においては、特に出血の危険性が高まる可能性を考慮するとともに、患者の出血リスクに十分配慮し、特に、腎障害、高齢又は低体重の患者では出血の危険性が増大するおそれがあること、また、抗血小板剤を併用する患者では出血傾向が増大するおそれがあることから、これらの患者については治療上の有益性が危険性を上回ると判断された場合のみ本剤を投与すること。

2. 禁忌

2.6 リトナビルを含有する製剤、~~アタザナビル~~、ダルナビル、ホスアンプレナビルを投与中の患者

2.10 ロナファルニブを投与中の患者

2.13 重度の腎障害

（成人ではクレアチニンクリアランス 30mL/min 未満、小児では eGFR30mL/min/1.73m² 未満）のある患者

4. 効能又は効果

成人

- 非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制
- 静脈血栓塞栓症（深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症）の治療及び再発抑制

小児

- 静脈血栓塞栓症の治療及び再発抑制

5. 効能又は効果に関連する注意

〈静脈血栓塞栓症の治療及び再発抑制〉

- 5.1 成人では、ショックや低血圧が遷延するような血行動態が不安定な肺血栓塞栓症患者、若しくは血栓溶解療法又は肺塞栓摘除術が必要な肺血栓塞栓症患者に対する本剤の安全性及び有効性は検討されていないので、これらの患者に対してヘパリンの代替療法として本剤を投与しないこと。
- 5.2 小児では、本剤は急性期への適切な初期治療（ヘパリン投与等）が5日以上なされた後に投与すること。

6. 用法及び用量

〈静脈血栓塞栓症の治療及び再発抑制〉

成人

通常、成人には深部静脈血栓症又は肺血栓塞栓症発症後の初期3週間はリバーロキサバンとして15mgを1日2回食後に経口投与し、その後は15mgを1日1回食後に経口投与する。

小児

通常、体重30kg以上の小児にはリバーロキサバンとして15mgを1日1回食後に経口投与する。

7. 用法及び用量に関連する注意

〈静脈血栓塞栓症の治療及び再発抑制〉

- 7.3 体重30kg未満の小児等に投与する場合は、リバーロキサバンドライシロップを使用すること。

5. 医薬品安全対策情報

Drug Safety Update No. 341 (2025.12) 添付文書の改訂

★最重要と☆重要のうち、当院採用薬（臨時採用も含む）のみを記載

☆リバーロキサバン（リバーロキサバンOD錠「バィル」／バィルライサイエンス＝第一三共製薬）

[11.1 重大な副作用] 一部改訂	出血： 頭蓋内出血、脳出血、出血性卒中、眼出血、網膜出血、直腸出血、胃腸出血、メレナ、上部消化管出血、下部消化管出血、出血性胃潰瘍、関節内出血、コンパートメント症候群を伴う筋肉内出血、 <u>脾破裂に至る脾臓出血</u> 等の重篤な出血があらわれることがあり、死亡に至る例が報告されている。 重篤な出血等の異常が認められた場合は投与を中止すること。 なお、出血に伴う合併症として、ショック、腎不全、呼吸困難、浮腫、頭痛、浮動性めまい、蒼白、脱力感があらわれることがある。また、一部の例では貧血の結果として胸痛又は狭心症様の心虚血症状があらわれている。
-----------------------	--

☆アピキサバン（エリキュース錠／ブリストル・マイヤーズスクイブ＝ファイザー）

[11.1 重大な副作用] 一部改訂	出血： 頭蓋内出血、消化管出血、眼内出血、 <u>脾破裂に至る脾臓出血</u> 等の出血があらわれることがある。
-----------------------	---

☆エドキサバントシル酸塩水和物（リクシアナ OD 錠／第一三共）

<p>[11.1 重大な副作用] 一部改訂</p>	<p>出血： 頭蓋内出血、消化管出血、眼内出血、創傷出血、後腹膜出血、<u>脾破裂に至る脾臓出血</u>等の重大な出血があらゆる組織及び器官に生じることがあり、脂肪に至った症例も報告されている。臨床的に問題となる出血又は出血の増悪がみられた場合には投与を中止すること。</p>
-------------------------------	--

☆ワルファリンカリウム（ワーファリン錠／エーザイ）

<p>[11.1 重大な副作用] 一部改訂</p>	<p>出血： <u>脳出血、脾破裂に至る脾臓出血</u>等の臓器内出血、粘膜出血、皮下出血等を生じることがある。本剤の抗凝固作用を急速に減少する必要がある場合には投与を中止するとともに、ビタミンK製剤の投与を考慮すること。脳出血等の重篤な出血を発現した場合には、必要に応じて、プロトロンビン複合体の静注又は新鮮凍結血漿の輸注等の適切な処置を行うこと。これらの場合には血栓再発に対し十分注意すること。</p>
-------------------------------	---

6. 医療安全情報

●PMDAの「製薬企業からの適正使用等に関するお知らせ」に以下の文書が掲載されました。

・アウイクリ®注 フレックスタッチ®の適正使用のお願い

※詳しい内容はPMDAのWebサイト

(<https://www.pmda.go.jp/files/000278129.pdf>) を参照してください。